

まちの特産品 猪名川焼き

平成28年10月、町内4カ所の窯で作られる陶器が「猪名川焼き」として町の特産品に認定され、今年1月から道の駅いながわで販売されています。個性の光る作品をぜひご覧ください！



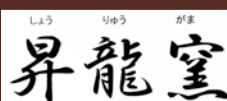
猪瀬字南ヶー119
営業日 水・木曜日

体験費用 1日1,500円+焼成費(約1,000円)
問合せ ☎ 090-8232-3969



柏原字古岩
営業日 水～土曜日

体験費用 2,160円+材料費(約1,000円)
問合せ ☎ 06-6421-7377



木津字垣内30
営業日 火・木・土曜日

体験費用 2,500円
問合せ ☎ 090-4294-5184



広根字庄司3-1
営業日 月～木、第2・4土・日曜日

体験費用 3,400円
問合せ ☎ 090-8388-2934

一度きりの体験だけでなく、定期的に教室も開いているのでお問い合わせください！

編集後記 作品に向きあって、無心で成形している時、ものづくりに没頭する心地よさを感じました。初めてできあがり作品を見るときのワクワク感がいいですね！

この春、何か始めたいと思ったら、ぜひ町の中でできる芸術、陶芸教室をのぞいてみてください！きっと新しい世界が広がりますよ！

長続きのコツは、どうしてもこれを作りたい！という情熱です。陶芸体験、楽しんでください！



恵土窯 新宅先生

十人十色 陶芸の魅力



磐田さん(つじが丘)
引っ越してきて何か趣味を、と思って始めた陶芸。お友達のリクエストのお茶碗を作成中！上達したかな？



三好さん(亀岡市)
展示会で作品に一目惚れし、教室に通って10年。うちで使っている器の多くは、こちらで作ったものです。



喜多さん(川西市)
自由に作れるのが魅力！ごはんをもりもり食べる孫のために、子ども一家4人分の食器を作ります！



▶内側は泡が立つよう釉薬なし！全体は白、黒で模様付け。



▶青で模様を描いて、白い釉薬の入ったバケツに浸し掛け。



装飾
この日は、素焼きした器を思い思いに装飾していきます。



頑張ったから、うまいっ♡

おきにいり♡

本焼き
色味、風合いは焼きあがるまで誰にもわからない！楽しみ！



いながわ 特派員報告



まちの 陶芸教室

皆さんは町内で陶芸教室の看板を見かけたことはありませんか？自分好みの器を作りたい！創作活動に打ち込みたい！など、人気の陶芸。今回ご紹介する窯の作品は特産品認定されているほか、気軽に楽しめる陶芸体験教室もあるそうです。特派員が体験し、魅力をお伝えします！
▽問合せ 産業観光課(☎766・8709)



▲先生や生徒さんの作品もたくさん。作品のイメージが膨らみます。

特派員も作ってみました！

今回訪れたのは、「恵土窯」の新宅恵輔先生です。猪瀬で約40年陶器を作り、毎年春には個展を開催されています。

まずは何を作るか考えます。先生からは土の色や釉薬などのアドバイス。掛け合わせで発色や風合いが変わること。恵土窯では、5種類の土と手作りの釉薬が約20種類も！作りたいものが決まったらいいよ作業！



陶器ができるまで
①土練り 窯で焼く時に気泡で割れないよう、土の中の空気を抜く。
②成形 ろくろや手びねりで器の形を作る。
③乾燥 1〜2週間、土の水分を乾燥させる。
④素焼き 窯で800度、9時間弱焼く。
⑤装飾 下絵付けをしたり、釉薬をかけた。り。
⑥本焼き 窯で1260度、約12時間焼く。完全に冷めたら完成！
※恵土窯の体験教室は②、または②と⑤の工程



▶積み上げるほど愛着もわき、美しく仕上げようと気合が入ります。最後に取っ手をつけて成形完了！

▶手びねりで成形開始。土を棒状にして積み上げます。初心者2人、厚さが均一になるよう奮闘すること2時間。



▶特派員は悩んだ末この2種類の土を使うことにしました。うまくできるかな？





冬の猪名川を駆け抜けろ！

▲2月12日、「2017（第44回）猪名川町彫刻の道マラソン大会」が開催されました。

前日の雪の影響で、グラウンドコンディションが悪い中での開催となりましたが、1,120人の参加者は泥を蹴り上げながら力走しました。



Fight!!

Fight!!



がんばって!!



ノってるかい★



日頃の練習の成果を披露！



▲2月8日、文化体育館で猪名川町老人クラブ連合会第2回演芸発表会が開催されました。

参加者は、楽器やダンス、カラオケなど日頃の練習の成果を発揮、客席からは拍手が起こり会場は大盛り上がりでした。

ふおと にゅ〜す

町民栄誉賞に小松和彦さん！



▲2月15日、文化体育館で平成28年度町表彰式を開催しました。この日は、昨年11月に民俗学・文化人類学の分野で、文化の向上発達などに努めたことから平成28年度の文化功労者に顕彰された小松和彦さん（69歳・猪名川台）に、本町で2人目となる「町民栄誉賞」を贈りました。また、町の発展に様々な形で尽力されたみなさんに、顕功賞（1人）、ツツジ賞（7人）、感謝状（4団体と24人）を贈り町長が感謝の言葉を述べました。

心を込めて描いた絵手紙が日本一を受賞！



▲白金小学校1年の南 雄登さんが、「第49回手紙作文コンクール・絵手紙部門（小学1～3年生の部、応募者32,185人、日本郵便（株）主催）」で文部科学大臣賞を受賞しました。夏休みの宿題でこの作品を提出した南さんは『夏の奥猪名健康の郷キャンプでオオサンショウウオに触らせてもらい、とてもうれしかった！それをじいじとばあばにもおしえてあげたかった！』と、絵手紙を書いた時の気持ちを話してくれました。



▶2月3日、猪名川保育園で節分の豆まきを行いました。鬼に扮した先生が室内に入ると子どもたちは大騒ぎ。怖がりながらも元気よく鬼退治しました。

力を合わせて鬼は外！



地域の安全は地域で守る！



▲1月21日、つつじが丘小学校で青色防犯パトロール車（青パト）の出発式が行われました。青パトはつつじが丘小学校区まちづくり協議会が日本財団の助成金を受けて購入し、地域の安全安心のためのパトロールに使用されます。式のあと、地域の皆さんに見送られながら、ピカピカの青パトはパトロールに向かいました。

「いなぼう」奇跡も味方につけ、猪名川町をPR！



▲2月7日、本町は園田競馬場で開催されたメインレースに「いなぼう杯」として協賛しました。いなぼうも応援した同レースでは、めったに見ることのできない同着1位という結果となり、奇跡の力も味方につけ、しっかりと町のPRをしてきました。

上記を含めた「園田・姫路競馬」は、県競馬組合（県・尼崎市・姫路市で構成）が主体となり、地方自治振興のための財源として県内市町の福祉の向上に役立てることを目的として実施しています。



広報いながわ、県広報コンクール特選受賞！



▲2月15日、平成28年度県広報コンクールで、広報いながわ8月号が町の部で特選（1位）に選ばれ、表彰されるとともに、全国広報コンクールへ県代表として推薦されることになりました。特集での「民生委員・児童委員」の紹介や、全体を通して多くのみなさんが広報誌やまちづくりに関わっていることをわかりやすく伝えたことが評価されました。

また、映像部門ではきらっと☆いながわ5月制作分「竹がもたらすみんなの笑顔～豊かな里山は猪名川町の宝物～」(下QRコード)が努力賞をいただくなど、いずれも皆さんと一緒に制作した作品が受賞しました。

後日、取材に協力いただいた同委員の皆さんに特選受賞の報告をしました。今後も皆さんの様々なご協力をお願いします！



▲8月号特集

